藤嶺藤沢高校だより　11月号

藤嶺学園藤沢高等学校　〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
℡ 0466-23-3150　https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/
（文責：高校教頭 香西　義之）

2026年11月16日（月）

【弁論大会】―自分の言葉で伝える思い―

11月10日（火）に高校弁論大会が開催され、生徒たちがそれぞれの経験や問題意識をもとに、個性豊かな弁論を披露しました。

最優秀賞に輝いたのは、1年C組の滝澤希君。演題は「ブラックバスを食卓に」です。特定外来生物に指定されているブラックバスを食用として活用することで、その数を減らそうというユニークな提案を行いました。さらに、ゲームなどを通じてブラックバスが食べられる魚であることを広く周知するという具体的な解決策も提示。独創的な着眼点に加え、堂々とした発表態度も高く評価されました。

優秀賞には、1年A組の張俊希君と3年C組の佐藤奏弥君が選ばれました。張君の演題は「なぜ私たちは外国語を学ぶのか？」。AIの発達によって外国語を学ばなくても意思疎通ができる時代だからこそ、言葉の裏にある意味や文化的背景を理解することの重要性を訴えました。直接の対話は人と人をつなぎ、文化やアイデンティティを守ることにもつながるとし、外国語を学ぶことは自分自身の世界を広げることだと主張しました。

佐藤君の演題は「自分の言葉」。AIの利便性を認めつつも、過度に依存することで誤った情報を受け入れたり、自ら考える力が損なわれたりする危険性を指摘しました。AI時代だからこそ、自分の頭で考え、自分自身の言葉で語ることの大切さを訴えました。

生徒特別賞には、1年D組の丸屋大地君が選ばれました。演題は「礼儀の持つ力」。野球を通じて挨拶や礼儀の大切さを学んだ経験から、強いチームほど礼儀を重んじ、それが仲間同士の信頼や相互の尊重につながっていることを語りました。特に野球部員にとって共感できる内容だったのではないでしょうか。

第55回弁論大会　結果

最優秀賞
1C　滝澤希君
「ブラックバスを食卓に」

優秀賞
3C　佐藤奏弥君
「自分の言葉」
1A　張俊希君
「なぜ私たちは外国語を学ぶのか？」

生徒特別賞
1D　丸屋大地君
「礼儀の持つ力」

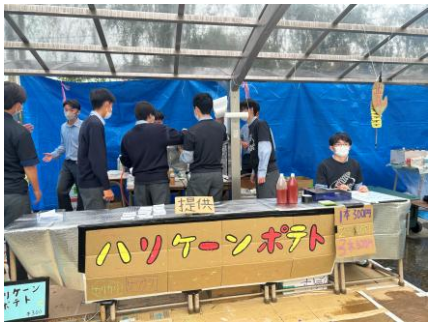




AIが身近になった今、AIに頼った弁論が増えるのではないかとも思われましたが、実際にはどの発表も生徒自身の経験や考えに根ざした、独創性あふれるものでした。論理構成もしっかりしており、内容面では甲乙つけがたいものがありました。それだけに、声の抑揚や間の取り方、身振り手振りなど、聴衆に思いを届けるための発表態度も審査の大きな要素となりました。

奇しくも、AI時代における言葉や思考の大切さを問いかける弁論が並んだ今回の大会。自分の考えを自分の言葉で伝えることの価値を、改めて感じさせてくれました。来年度はどのような弁論が披露されるのか、今から楽しみです。

第 97 回藤嶺祭 ～「一生の思い出を今。」～



10 月 24 日（土）・25 日（日）の 2 日間、第 97 回藤嶺祭が開催されました。今年のテーマは「一生の思い出を今。」。両日ともあいにくの雨模様となりましたが、2 日間で 2,000 人を超える皆様にご来場いただき、校内は生徒たちの笑顔と活気に包まれました。

今年は飲食企画を 8 店舗に絞り、その分、展示や体験型の企画を充実させたことが大きな特徴です。各クラスや部活動、団体がそれぞれの個性を生かし、工夫を凝らしたバラエティ豊かな展示が校内の至るところで見られました。来場者に楽しんでもらおうと、生徒たちが趣向を凝らして企画を考え、準備を重ねてきた成果が随所に感じられました。

鉄道研究部による恒例の「人を乗せて走るミニ列車」は今年も大人気。子どもたちを中心に多くの来場者が乗車を楽しみ、藤嶺祭ならではの光景が広がりました。また、体育館では本格的な音響・照明設備を駆使したステージ発表が繰り広げられ、会場を大いに盛り上げました。さらに、昨年に引き続き演劇があり、去年よりさらに凝った演出、セット、衣装、効果音等で観客を楽しませていました。



こうした藤嶺祭を支えたのが、実行委員長の山崎直哉君を中心とする実行委員会の生徒たちです。企画の調整から当日の運営に至るまで、生徒たちが主体となって取り組み、仲間と協力しながら一つの大きな行事を作り上げました。多くの人が関わる行事だけに、準備や運営にはさまざまな苦労もあったことと思いますが、それらを乗り越えた経験は、生徒たちにとって大きな財産となったことでしょう。

藤嶺祭は、日頃の学習や部活動の成果を発表する場であると同時に、生徒一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と協力することの大切さを学ぶ場でもあります。雨にも負けず、来場者を笑顔で迎え、精いっぱい楽しませようとする生徒たちの姿が印象的な 2 日間となりました。

テーマに掲げた「一生の思い出を今。」の言葉どおり、仲間とともに過ごしたこの 2 日間が、生徒たちの心にいつまでも残る思い出となることを願っています。

最後になりましたが、開催にあたり尽力した実行委員会をはじめとする生徒の皆さん、ご協力いただいた保護者・PTA の皆様、そして雨の中ご来場くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

【今後の主な行事予定（高校）】

11/16(月)～11/20(金)　[高３] 三者面談週間
11/21(土)　教育実習終了
12/3(木)～12/7(月)　期末試験
12/8(火)　高校自宅学習日
12/14(月)　[高２] ＳＮＳトラブル防止講演会
12/16(水)～12/18(金)　特別学習指導日
12/19(土)～12/22(火)　自宅学習日
12/22(火)　学級ＰＴＡ
12/23(水)　終業式

